

長久手市行政評価票

事業番号	71	事業の名称	遊休農地活用事業	担当部署	部	課
					建設部	産業緑地課

事業の目的・概要	(目的) 前熊堀越地区の遊休農地を活用した地産地消の推進 (概要) 要綱に基づく前熊堀越地区の農地の幹旋や「長久手給食食材生産会」の運営支援等により、あぐりん村や学校給食へ農作物を出荷する農家及びその出荷量を増やし、前熊堀越地区を地産地消の農産物の生産拠点とする。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市:農地バンク制度 東郷町:農地バンク制度
----------	---	------------------------------------	----------------------------

事業期間	事業開始年度	平成20年度	終了(予定)年度	—		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内農業者					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	前熊堀越地区を安定的に農産物を生産する自然豊かな長久手農業の生産拠点にする。					
総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
	うち	0	0	0	0	0
	一般財源					
	国費・県費					
	地方債					
	受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
①	市内農業者	[手段: 幹旋]				前熊堀越地区の遊休農地を解消し、耕作地を増やし、市内農産物の生産量を増加させる。	遊休農地の幹旋 2,125㎡	前熊堀越地区の遊休農地面積	40,729	32,483	㎡	前熊堀越地区の遊休農地の減少状況	0	0	0	0	B	現行どおり実施していく。遊休農地の幹旋により、幹旋対象区内の遊休農地が着実に減少している。	
②	市内農業者	[手段: 栽培会議]				学校給食への地元農産物の納入量を増やす。	栽培会議を3回実施	学校給食への納入実績	5,122	2,505	kg	前年度実績	0	0	0	0	A	今後も、安心安全な市内産野菜の学校給食への納入を増やしていく。	
③	市内農業者	[手段: N-GAP]				生産する農産物の質を向上させ、安心安全な長久手産野菜を消費者にむけてアピールする。	・N-GAPの実施 ・N-GAPロゴマーク等を制作	N-GAP認証圃場面積	0	50,374	㎡	N-GAP認証圃場面積	0	0	0	0	A	制作したN-GAPのロゴマーク等を活用して、市民の市内産野菜への理解を深める方法を検討する。	
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	①	「農地活用支援に関する要綱」による農地の幹旋		
②				
③				

H25以降新規に実施する事務事業